

人文社会科学と情報科学が

出会うとき

人文社会科学と情報科学が融合するとどんなことが可能なのでしょうか。文化情報学科の初合同シンポジウムでは、その可能性と実社会への応用を探ります。

司会：水原啓暁



藤本花音

(文化情報学科生活情報通信科学コース)

「バーチャルリアリティ環境における空間の傾きが空間認知と身体姿勢制御に与える影響」



須藤克仁

(文化情報学科生活情報通信科学コース)

「ことばの人工知能の仕組みと様々な学術応用への期待」



安藤香織

(文化情報学科生活文化学コース)

「コミュニケーションはAI同士の協力行動を促進するか — オンラインごみ処理ジレンマゲームを用いた検討」



安橋正人

(文化情報学科生活文化学コース)

「社会科学分野でのテキストアナリティクスの応用—データとしての政策文書の活用」

パネルディスカッション

日時：2025年3月4日（火）14：00～16：00（予定）

場所：奈良女子大学 E108教室

(近鉄奈良駅5番出口より徒歩5分)

対象者：奈良国立大学機構学生、教職員、一般の方、高校生など
どなたでも関心のある方はご参加いただけます

参加費：無料

参加登録：不要

主催：奈良女子大学生活環境学部文化情報学科

後援：奈良女子大学家政学会

問い合わせ先：

文化情報学科学科長 安藤香織 (Email: andok@cc.nara-wu.ac.jp)